

# 平成30年度 第2回 地域活動実践講座 実施報告書

日時 平成31年2月21日（木曜日）  
会場 かでる2・7 10階 1050会議室  
参加者 19人  
内容 1.実践発表 2.グループ討議 3.講演

参加者を3班に分け、各班内でレポート発表を行いました。その後、活動する上での課題を出し合い、それを解決するための方策について話し合いを行いました。具体的な課題が次々に出され、課題を共有し、互いに発言しあい、とても活発な討議が行われました。

## 課題交流

- 近所の児童生徒への声かけがしにくい。（知らない人＝不審者という学校の指導）
- 独居老人の見守りを行う際、個人情報保護が壁になり、何もできない
- 町内会の幹部役員を同じ人が長期間行う弊害が出ている
- 札幌だけでなく、地方でも近所付き合いが少なくなり、災害時が心配である



## 改善策

- 役員業務の軽減
- 行動費を高額にする
- 地域づくりはまず両隣から
- 地域の花壇づくりや案内ボランティアの活性化で公園を訪れる人が多くなり、地域が元気になるようにしたい
- 児童生徒との協働作業を通しコミュニケーションを図る



町内会で花壇づくりを行う際、学校と連携し、生徒が手伝いに来てくれるという事例も紹介されました。

## グループ討議の様子



Aグループ



Bグループ



Cグループ

## 講義

講師：赤レンガボランティアガイド 武石詔吾氏  
「ボランティア及び趣味を活かした地域活動」



- 生きがいを求めて様々な趣味をもっている
- 歴代「長官」の足跡・業績について調査している（具体的な解説）
- 地域活動等を通して得た知見
  - ・お客さんに喜ばれる、感謝される、人を知り、人から学ぶ
  - ・自分を活かす、人のために役立つ（地域活動・社会貢献等）
  - ・生きる喜び、意欲、自信等、自分の成長